

令和5年度 沖縄渇水対策連絡協議会

議 事 次 第

＜進行：建設行政課長＞

1. 開 会

2. 挨 拶

沖縄渇水対策連絡協議会会長

3. 議 事

(1) 水源状況等について

(イ) 降雨見込み等について・・・・・・・・・・沖縄気象台

資料1

(ロ) 国管理ダムの水源状況及び雨水の流出状況について

・・沖縄総合事務局北部ダム統合管理事務所

資料2

(ハ) 最近の水事情及び水需要の動向について

・・・・・・・・・・沖縄県企業局

資料3

(2) 節水広報の強化について・・・・・・・・・・事務局

資料4

(3) その他

4. 閉 会

令和5年度 沖縄渇水対策連絡協議会 出席者一覧

役職	所属・職名	総会委員氏名	代 理 人		随行者	備考
			代理人職名	代理人氏名		
会長	沖縄総合事務局次長	河南 正幸				
副会長	沖縄県土木建築部長	前川 智宏	土木整備統括監	砂川 勇二	長嶺 昇平	
副会長	沖縄県企業局長	松田 了	企業技監	石新 実	國吉 真也 奥間 信康	
委員	沖縄総合事務局開発建設部長	坂井 功				
委員	沖縄総合事務局開発建設部技術管理官	松下 一樹				
委員	沖縄総合事務局農林水産部長	福島 央	農村振興課 課長補佐	北村 知周	香村 篤輝	
委員	沖縄气象台次長	計盛 正博			若松 俊哉	
委員	沖縄県知事公室長	溜 政仁	防災危機管理課副参事	豊里 友茂		
委員	沖縄県総務部長	宮城 力				欠席
委員	沖縄県企画部長	金城 敦	副参事	島袋 直樹	小禄 大介	
委員	沖縄県保健医療部長	糸数 公	保健衛生統括監	新城 光雄	仲地 司	
委員	沖縄県子ども生活福祉部長	宮平 道子	生活企画統括監	大城 清二	角田 徹	
委員	沖縄県農林水産部長	前門 尚美	農地農村整備課 施設管理班長	屋良 朝博		
委員	沖縄県商工労働部長	松永 享	産業政策課副参事	宮國 順英		
委員	沖縄県文化観光スポーツ部長	宮城 嗣吉	参事	渡真利 昌弘		
委員	那覇市上下水道局長	屋比久 猛義			田場 毅 安和 守史	
委員	浦添市上下水道部長	島尻 恒彦	工務課長	朝谷 誠	宮城 斗武	
委員	沖縄市上下水道局長	新里 智昭	上下水道部 管理課長	小山 千奈美	根路銘 恵輔	上下水道局長職務代理者 上下水道部長

降雨見込み等について  
(沖縄気象台)

## 令和 5 年度沖縄渇水対策連絡協議会 「総会」

### 沖縄気象台資料

#### 目次

- 沖縄地方 1 か月予報（令和 6 年 2 月 22 日発表）
- 沖縄地方 3 か月予報（令和 6 年 2 月 20 日発表）
- 沖縄地方暖候期予報（令和 6 年 2 月 20 日発表）
- 県内各地のこれまでの降水量平年比及び旬別降水量
- 少雨に関する気象情報発表状況



# 沖縄地方 1 か月予報

(2月24日から3月23日までの天候見通し)

令和6年2月22日  
沖縄气象台発表

## <特に注意を要する事項>

期間の前半は、降水量の少ない状態が続く所があるでしょう。

## <予想される向こう1か月の天候>

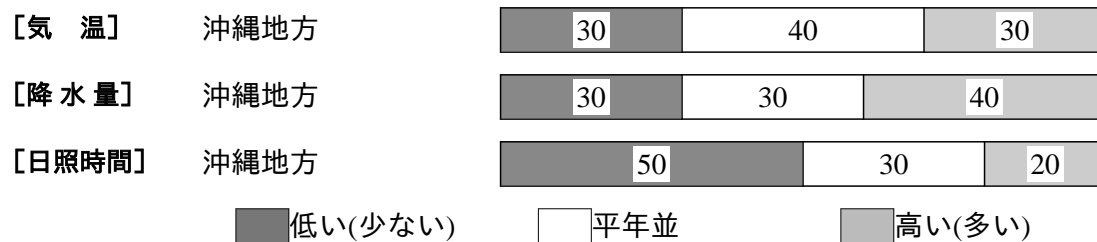
向こう1か月の出現の可能性が最も大きい天候と、特徴のある気温、降水量等の確率は以下のとおりです。

天気は数日の周期で変わりますが、平年に比べ曇りや雨の日が多いでしょう。

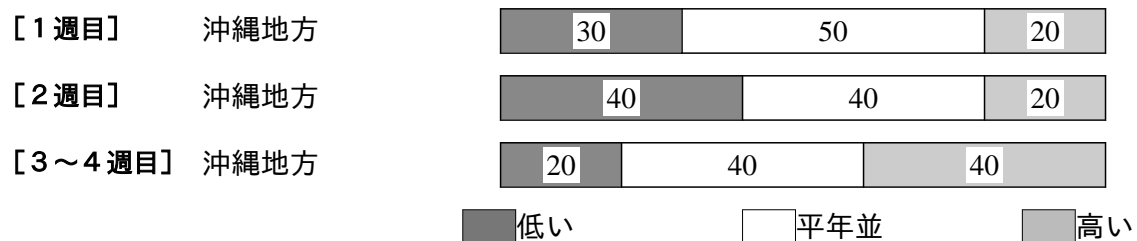
向こう1か月の日照時間は、少ない確率50%です。

週別の気温は、1週目は、平年並の確率50%です。2週目は、平年並または低い確率ともに40%です。3～4週目は、平年並または高い確率ともに40%です。

## <向こう1か月の気温、降水量、日照時間の各階級の確率(%)>



## <気温経過の各階級の確率(%)>



## <予報の対象期間>

1 か月       : 2月24日(土)～ 3月23日(土)  
1 週目       : 2月24日(土)～ 3月 1日(金)  
2 週目       : 3月 2日(土)～ 3月 8日(金)  
3～4 週目   : 3月 9日(土)～ 3月22日(金)

## <次回発表予定等>

1 か月予報: 毎週木曜日 14時30分 次回は2月29日  
3 か月予報: 3月19日(火) 14時

## <参考資料（平年並の範囲等）>

（１）30年平均値（向こう1か月の平均気温、降水量、日照時間と1週目、2週目、3～4週目の平均気温）

	気 温 (℃)	降 水 量 (mm)	日照時間 (時間)	気 温(℃)		
				1 週目	2 週目	3～4 週目
那覇	18.7	129.0	103.9	18.2	18.3	19.1
名護	18.0	119.8	101.7	17.5	17.6	18.5
久米島	18.5	170.4	95.3	18.0	18.1	19.0
南大東島	19.1	78.7	138.4	18.7	18.8	19.4
宮古島	19.7	133.6	104.3	19.2	19.3	20.1
石垣島	20.6	134.5	106.8	20.0	20.1	21.0
西表島	19.9	150.7	97.3	19.4	19.5	20.3
与那国島	20.1	164.0	78.9	19.5	19.7	20.6

なお、気温、降水量、日照時間の「平年並」の範囲は、地点ごとに幾分違いはありますが、下に示した地域平均の「平年並」の範囲を参考にしてください。

（２）1991～2020年のデータに基づいた向こう1か月地域平均の気温、降水量、日照時間の平年差（比）の「平年並」の範囲は次のとおりです。

	気温平年差(℃)	降水量平年比(%)	日照時間平年比(%)
沖縄地方	-0.3～+0.6	83～116	87～106

（３）この予報期間の1週目、2週目、3～4週目の地域平均の気温平年差の「平年並」の範囲は次のとおりです。

	1 週目	2 週目	3～4 週目
沖縄地方	-0.7～+0.9	-0.8～+0.8	-0.3～+0.5

## <参考資料（利用上の注意）>

（１）気温（降水量）等は、「低い（少ない）」「平年並」「高い（多い）」の3つの階級で予報します。階級の幅は、1991～2020年の30年間に於ける各階級の出現率が等分（それぞれ33％）となるように決めてあります（気候的出現率と呼びます）。

（２）予報する確率の数値は、それぞれの階級が出現する可能性の大きさを表しています。予測資料の信頼性が大きい場合には気候的出現率から大きく隔たった10％以下や60％以上の確率を付けられますが、特定の階級を強調できない場合には気候的出現率と同じかそれと同程度（30％、40％）の確率しか付けられません。

（３）晴れや雨などの天気日数は、平年の日数よりも多い（少ない）場合は「平年に比べて多い（少ない）」、また平年の日数と同程度に多い（少ない）場合には「平年と同様に多い（少ない）」と表現します。なお、単に多い（少ない）と表現した場合には対象期間の2分の1より多い（少ない）ことを意味します。

（４）沖縄地方における気象要素の地域平均平年差（比）は、那覇、名護、久米島、宮古島、石垣島、西表島及び与那国島における気象要素の平年差（比）を7地点平均することにより算出しています。

## 沖縄地方 3か月予報

(3月から5月までの天候見通し)

令和6年2月20日  
沖縄气象台発表

### <予想される向こう3か月の天候>

向こう3か月の出現の可能性が最も大きい天候と、特徴のある気温、降水量等の確率は以下のとおりです。

この期間の平均気温は、高い確率50%です。降水量は、平年並または多い確率ともに40%です。

3月 天気は数日の周期で変わり、平年と同様に曇りや雨の日が多いでしょう。

降水量は、平年並または多い確率ともに40%です。

4月 天気は数日の周期で変わるでしょう。

気温は、高い確率50%です。

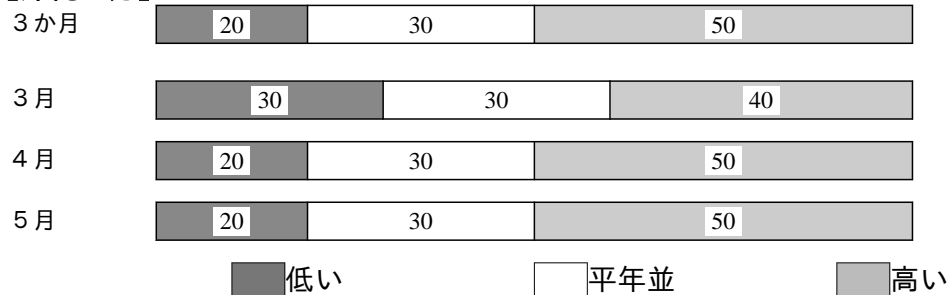
5月 平年に比べ曇りや雨の日が多いでしょう。

気温は、高い確率50%です。降水量は、平年並または多い確率ともに40%です。

### <向こう3か月の気温、降水量の各階級の確率(%)>

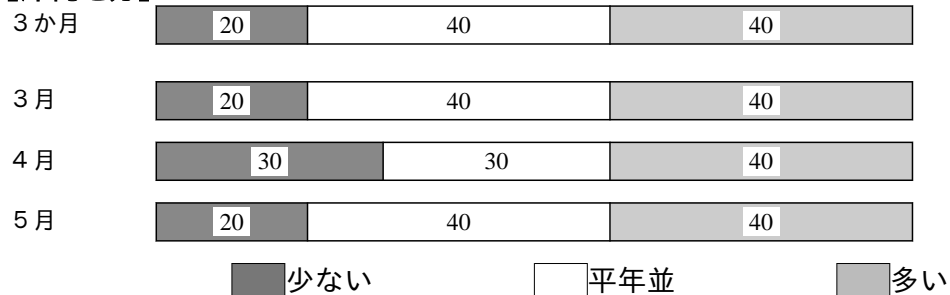
#### <<気温>>

##### [沖縄地方]



#### <<降水量>>

##### [沖縄地方]



### <次回発表予定等>

1か月予報：毎週木曜日 14時30分 次回は2月22日

3か月予報：3月19日(火) 14時

なお、3月の予報については、新しい資料による次回以降の1か月予報を適宜ご利用ください。

## <参考資料（平年並の範囲等）>

（１）平年値（月・３か月平均気温、降水量）

	気 温(℃)				降 水 量(mm)				日照時間(時間)			
	3月	4月	5月	3月～5月	3月	4月	5月	3月～5月	3月	4月	5月	3月～5月
那覇	19.1	21.5	24.2	21.6	142.8	161.0	245.3	549.0	115.3	120.9	138.2	374.4
名護	18.5	20.9	23.8	21.1	140.8	160.8	220.1	521.6	112.6	121.3	136.7	370.5
久米島	19.0	21.5	24.2	21.6	195.5	196.8	260.3	652.6	107.6	118.4	136.2	362.3
南大東島	19.5	21.6	24.1	21.7	84.2	113.6	222.0	419.7	154.0	152.8	171.0	477.7
宮古島	20.1	22.5	25.0	22.5	138.7	148.7	222.3	509.7	116.0	122.9	149.3	388.1
石垣島	20.9	23.4	25.9	23.4	134.4	146.9	190.7	472.0	118.1	130.3	164.3	412.7
西表島	20.2	22.8	25.5	22.8	147.3	157.3	175.6	480.2	107.1	124.3	165.8	397.2
与那国島	20.5	23.0	25.4	23.0	163.7	153.0	207.3	524.0	88.1	104.7	142.3	329.3

欠測により平年値を求めるための資料年数（観測値のある年数）が各月毎に異なることなどにより、３か月平年値等が各月の平年値から求めた値と一致しないことがあります。

（２）1991～2020年のデータに基づいたこの予報期間の地域平均の気温、降水量の平年差（比）の「平年並」の範囲は次のとおりです。

要 素	予報対象地域	3月	4月	5月	3月～5月
気温平年差(℃)	沖縄地方	-0.5～+0.6	-0.3～+0.3	-0.3～+0.2	-0.3～+0.3
降水量平年比(%)	沖縄地方	84～121	84～110	73～112	92～112
日照時間平年比(%)	沖縄地方	88～109	89～111	84～107	91～102

（３）接近する台風の平年値

	3月	4月	5月
沖縄地方	0.0	0.0	0.4

## <参考資料（利用上の注意）>

（１）気温（降水量）等は、「低い（少ない）」「平年並」「高い（多い）」の３つの階級で予報します。階級の幅は、1991～2020年の30年間における各階級の出現率が等分（それぞれ33％）となるように決めてあります（気候的出現率と呼びます）。

（２）予報する確率の数値は、それぞれの階級が出現する可能性の大きさを表しています。予測資料の信頼性が大きい場合には気候的出現率から大きく隔たった10％以下や60％以上の確率を付けられますが、特定の階級を強調できない場合には気候的出現率と同じかそれと同程度（30％、40％）の確率しか付けられません。

（３）晴れや雨などの天気日数は、平年の日数よりも多い（少ない）場合は「平年に比べて多い（少ない）」、また平年の日数と同程度に多い（少ない）場合には「平年と同様に多い（少ない）」と表現します。なお、単に多い（少ない）と表現した場合には対象期間の2分の1より多い（少ない）ことを意味します。

（４）沖縄地方における気象要素の地域平均平年差（比）は、那覇、名護、久米島、宮古島、石垣島、西表島及び与那国島における気象要素の平年差（比）を7地点平均することにより算出しています。

## 沖縄地方 暖候期予報 (3月から8月までの天候見通し)

令和6年2月20日  
沖縄气象台発表

### <予想される夏(6月から8月)の天候>

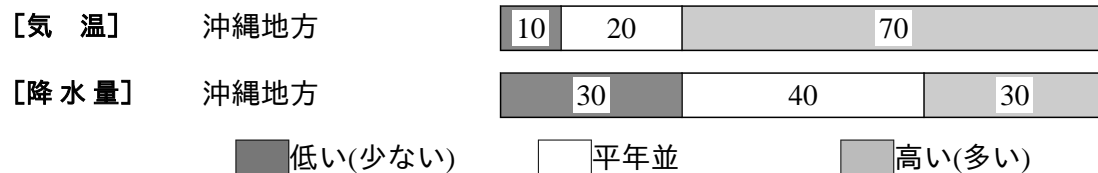
夏(6月から8月)の出現の可能性が最も大きい天候と、特徴のある気温、降水量等の確率は以下のとおりです。

5月から6月は平年に比べ曇りや雨の日が多いでしょう。その後は、平年と同様に晴れの日が多いでしょう。

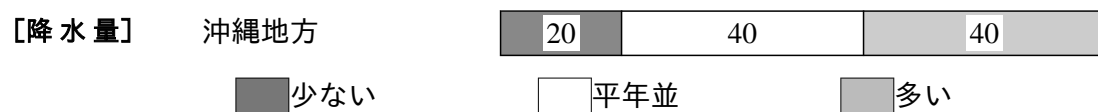
この期間の平均気温は、高い確率70%です。梅雨の時期(5月から6月)の降水量は、平年並または多い確率ともに40%です。

なお、5月までの予報については、最新の3か月予報等をご覧ください。

### <夏(6月から8月)の気温、降水量の各階級の確率(%)>



### <梅雨の時期(5月から6月)の降水量の各階級の確率(%)>



### <次回発表予定等>

1か月予報：毎週木曜日 14時30分 次回は2月22日

3か月予報：3月19日(火) 14時

暖候期予報については、3月と4月の3か月予報[3月19日と4月23日に発表予定]に合わせて予報内容を再検討し、変更がある場合には修正発表します。また、5月の3か月予報発表以降、夏の予報については、最新の3か月予報等をご利用ください。

## <参考資料（平年並の範囲等）>

(1) 平年値（月・3か月平均気温、降水量、梅雨の時期（5～6月）の降水量）

	気 温(℃)				降 水 量(mm)				
	6月	7月	8月	6月～8月	6月	7月	8月	6月～8月	梅雨の時期
那覇	27.2	29.1	29.0	28.4	284.4	188.1	240.0	712.4	529.7
名護	26.9	28.9	28.8	28.2	291.7	182.6	265.9	740.2	511.8
久米島	27.2	29.0	28.9	28.4	307.4	154.4	197.7	659.5	567.7
南大東島	26.9	28.7	28.6	28.1	199.6	118.0	151.1	468.7	421.6
宮古島	27.7	28.9	28.6	28.4	194.7	151.6	257.4	603.6	417.0
石垣島	28.4	29.6	29.4	29.1	208.2	142.3	249.8	600.2	398.9
西表島	27.8	28.9	28.5	28.4	186.3	128.8	282.0	597.2	361.9
与那国島	27.9	28.9	28.7	28.5	162.3	125.3	213.0	500.7	369.6

欠測により平年値を求めるための資料年数（観測値のある年数）が各月毎に異なることなどにより、3か月平年値等が各月の平年値から求めた値と一致しないことがあります。

(2) 1991～2020年のデータに基づいた6～8月地域平均の気温、降水量の平年差（比）の「平年並」の範囲は次のとおりです。

要 素	予報対象地域	6月	7月	8月	6月～8月
気温平年差(℃)	沖縄地方	-0.2～+0.1	+0.0～+0.2	-0.2～+0.1	-0.1～+0.1
降水量平年比(%)	沖縄地方	76～121	68～120	68～112	82～115

(3) 1991～2020年のデータに基づいた梅雨の時期（5～6月）地域平均の降水量の平年比の「平年並」の範囲は次のとおりです。

要 素	予報対象地域	梅雨の時期
降水量平年比(%)	沖縄地方	82～110

(4) 梅雨時期前後における各地の平年の気象経過

旬降水量 平年値 (mm)	4月			5月			6月			7月		
	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬
那覇	48.2	59.5	53.2	57.5	90.2	97.6	101.1	137.6	45.7	74.1	52.8	61.1
名護	51.3	58.8	50.7	59.1	72.9	88.1	90.0	147.5	54.1	70.4	52.4	59.8
久米島	64.3	76.0	56.5	61.9	91.2	107.2	118.1	149.7	39.6	72.7	30.6	51.1
南大東島	32.9	48.5	32.2	39.7	63.6	118.8	97.1	87.5	15.0	27.2	36.9	53.9
宮古島	41.6	58.6	48.6	61.5	72.1	88.8	102.4	64.3	28.0	60.6	43.3	47.7
石垣島	44.2	52.3	50.4	46.0	65.5	79.2	101.2	84.0	23.0	44.9	43.2	54.2
西表島	49.8	60.0	47.5	46.8	57.6	71.2	74.9	71.8	39.6	41.8	45.3	41.8
与那国島	48.1	61.2	45.8	48.3	79.6	79.4	65.7	63.5	33.5	33.1	38.8	53.4

旬日照時間 平年値 (h)	4月			5月			6月			7月		
	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬
那覇	39.4	41.3	40.2	43.7	45.2	49.3	41.9	47.1	70.5	72.1	75.2	79.7
名護	39.3	42.9	39.1	43.4	45.5	47.8	40.7	44.2	67.7	73.7	78.9	83.1
久米島	38.1	41.3	39.1	43.1	44.9	48.3	42.6	45.0	71.3	76.2	85.2	88.9
南大東島	51.7	53.6	48.2	61.8	53.7	54.9	56.8	65.5	96.9	95.6	89.8	93.4
宮古島	38.5	42.2	42.2	45.7	47.3	56.3	53.4	55.0	84.7	79.0	81.5	81.6
石垣島	41.0	44.2	45.1	48.8	54.5	61.0	58.9	60.0	92.5	84.4	87.9	88.8
西表島	38.0	43.7	42.6	49.5	54.7	61.6	58.6	55.4	89.7	82.1	84.9	89.2
与那国島	31.6	37.1	37.3	40.8	47.7	53.8	51.3	50.7	81.4	80.3	86.1	91.5

(5) 接近する台風の平年値

	6月	7月	8月
沖縄地方	0.6	1.5	2.2

### ＜参考資料（利用上の注意）＞

- （１）気温（降水量）等は、「低い（少ない）」「平年並」「高い（多い）」の３つの階級で予報します。階級の幅は、1991～2020年の30年間における各階級の出現率が等分（それぞれ33％）となるように決めてあります（気候的出現率と呼びます）。
- （２）予報する確率の数値は、それぞれの階級が出現する可能性の大きさを表しています。予測資料の信頼性が大きい場合には気候的出現率から大きく隔たった10％以下や60％以上の確率を付けられますが、特定の階級を強調できない場合には気候的出現率と同じかそれと同程度（30％、40％）の確率しか付けられません。
- （３）晴れや雨などの天気日数は、平年の日数よりも多い（少ない）場合は「平年に比べて多い（少ない）」、また平年の日数と同程度に多い（少ない）場合には「平年と同様に多い（少ない）」と表現します。なお、単に多い（少ない）と表現した場合には対象期間の2分の1より多い（少ない）ことを意味します。
- （４）沖縄地方における気象要素の地域平均平年差（比）は、那覇、名護、久米島、宮古島、石垣島、西表島及び与那国島における気象要素の平年差（比）を7地点平均することにより算出しています。

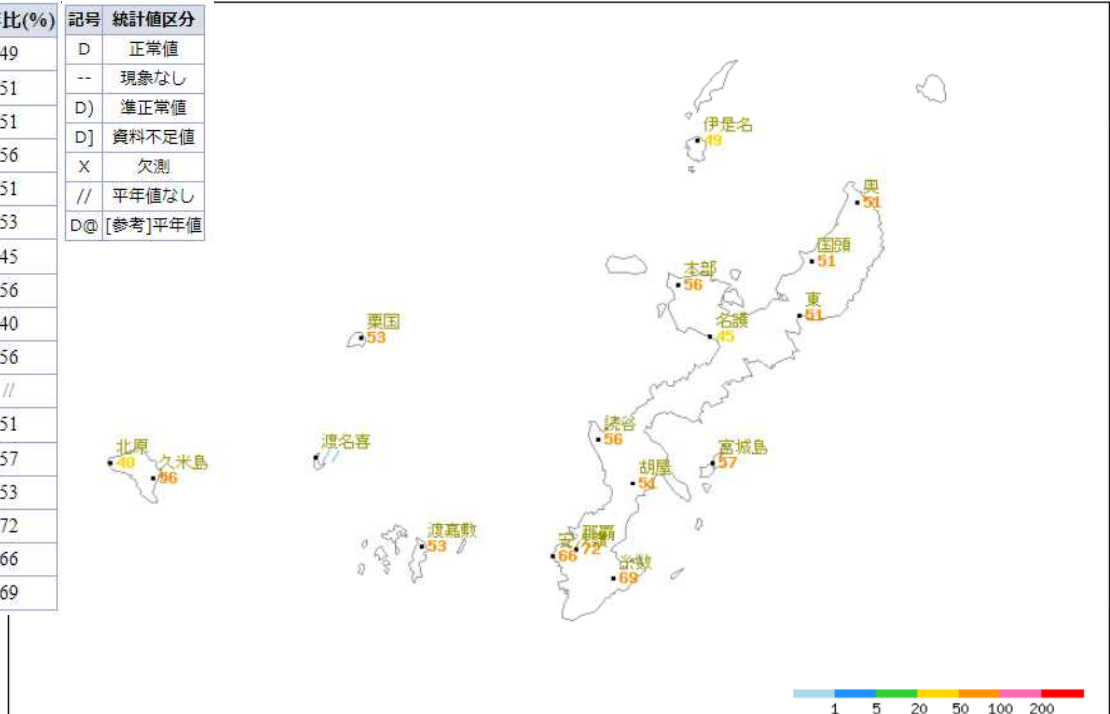
# 沖縄本島地方のこれまでの積算降水量

(アメダス日別値 2023年9月1日～2024年2月13日)

- 沖縄本島地方のすべての地点で平年を下回っている。特に、伊是名、名護、北原では平年の半分を下回っている。名護では、秋(9～11月)の期間について降水量の少ない方からの極値を更新した(169.0mm)(これまでの最小は1968年の174.0mm)。名護では、1月においても降水量は少なかった(27.0mm)(これまでの最小の2015年の23.0mmに次ぐ記録)。
- 2023年9月～2024年1月のアメダス月別値(最古は1976年)による積算降水量によると、沖縄本島地方のアメダス地点の半数ほどが、過去最も少雨となっている。

地点名	実況値	平年値	平年比(%)
伊是名	316.5	644.5	49
奥	538.5	1056.8	51
国頭	488.5	956.7	51
本部	453.5	815.3	56
東	420.0	829.7	51
粟国	361.0	685.9	53
名護	358.5	790.6	45
読谷	389.5	699.6	56
北原	292.5	723.4	40
久米島	475.5	843.9	56
渡名喜	389.0	//	//
胡屋	419.0	822.0	51
宮城島	428.0	752.5	57
渡嘉敷	444.0	834.6	53
那覇	592.5	828.3	72
安次嶺	434.0	662.3	66
糸数	533.0	777.9	69

記号	統計値区分
D	正常値
--	現象なし
D)	準正常値
D]	資料不足値
X	欠測
//	平年値なし
D@	[参考]平年値



# 大東島・宮古島・八重山地方のこれまでの積算降水量

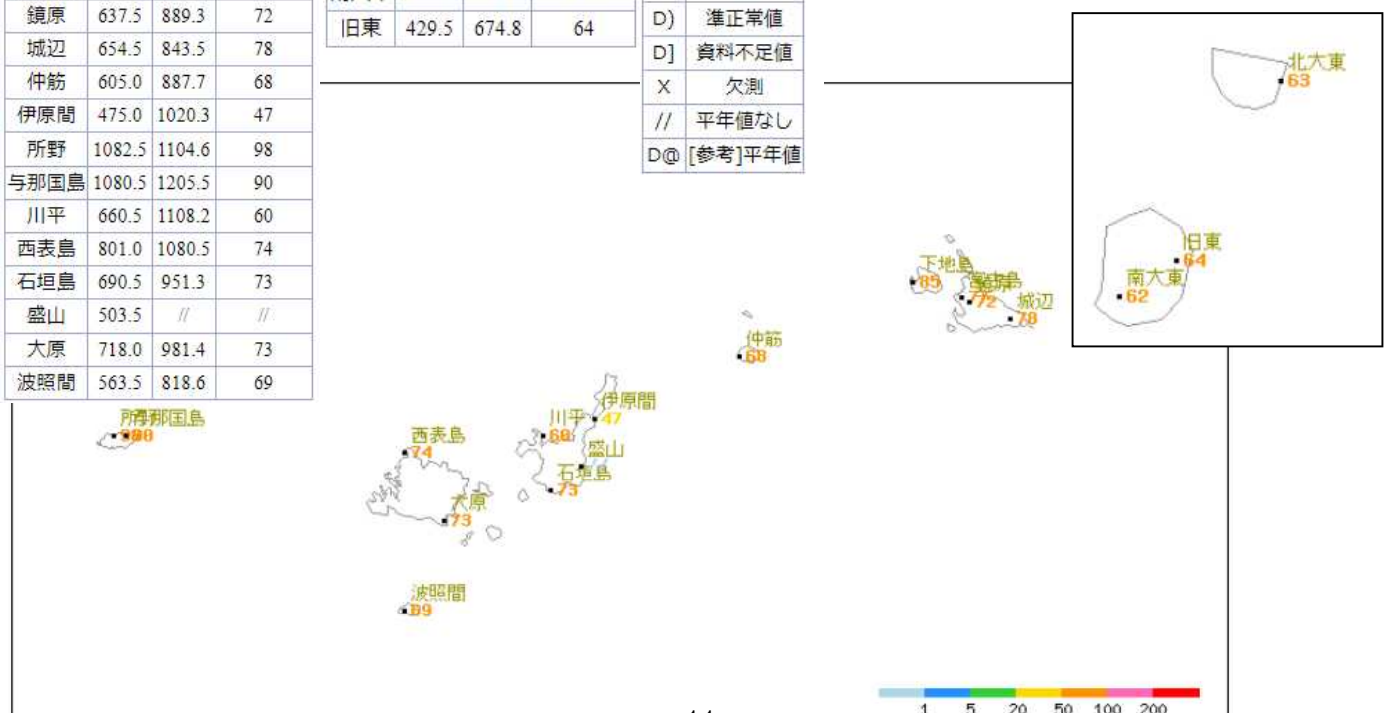
(アメダス日別値 2023年9月1日～2024年2月13日)

- すべての地点で平年を下回っている。特に、伊原間では平年比40%台。

地点名	実況値	平年値	平年比(%)
下地島	679.0	801.0	85
宮古島	686.0	889.5	77
鏡原	637.5	889.3	72
城辺	654.5	843.5	78
仲筋	605.0	887.7	68
伊原間	475.0	1020.3	47
所野	1082.5	1104.6	98
与那国島	1080.5	1205.5	90
川平	660.5	1108.2	60
西表島	801.0	1080.5	74
石垣島	690.5	951.3	73
盛山	503.5	//	//
大原	718.0	981.4	73
波照間	563.5	818.6	69

地点名	実況値	平年値	平年比(%)
北大東	391.5	618.9	63
南大東	433.5	703.6	62
旧東	429.5	674.8	64

記号	統計値区分
D	正常値
--	現象なし
D)	準正常値
D]	資料不足値
X	欠測
//	平年値なし
D@	[参考]平年値



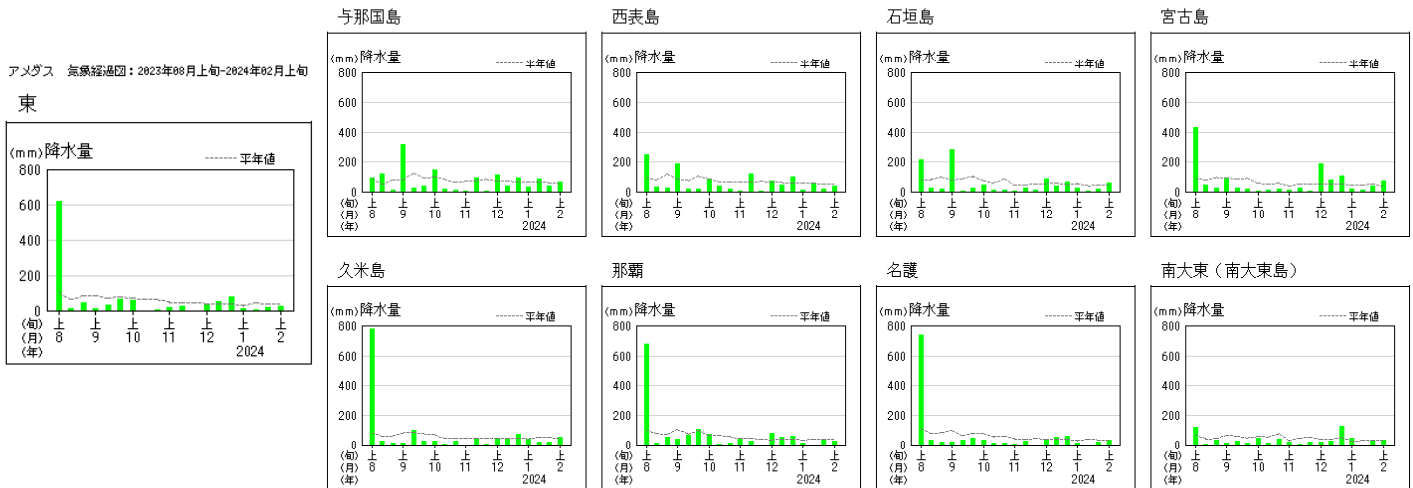


# 沖縄各地のこれまでの旬別降水量

(旬別値 2023年8月1日～2024年2月10日)

- ・ 国頭郡東村（アメダス）の旬別降水量は、動きの遅い台風第6号の影響を受けた8月上旬には大雨となったものの、その後は平年を下回る時期が12月中・下旬を除いて継続していた。
- ・ 沖縄各地の気象官署等の旬別降水量をみても、主に10～11月及び1月において平年を下回る旬が多かった。
- ・ なお、沖縄地方平均※としての月降水量は、8月はかなり多い（過去最多）、9月は平年並、10月は少ない、11月はかなり少ない、12月は多い、1月はかなり少ない、となった。

地上気象 気象経過図：2023年08月上旬-2024年02月上旬



※沖縄地方平均は、那覇、名護、久米島、宮古島、石垣島、西表島、与那国島の7地点平均値

## これまでの少雨に関する気象情報発表状況

- ・ 2023年では、3～7月に、宮古島地方、八重山地方、大東島地方に対して、少雨に関する気象情報を発表している。
- ・ 2024年では、2月に、沖縄本島地方に対して、少雨に関する気象情報を発表している（前回の発表は2017年8月）。

発表官署：沖縄気象台

発表期日	表 題
令和6年2月22日	少雨に関する沖縄本島地方気象情報 第1号

発表官署：宮古島地方気象台

発表期日	表 題
令和5年3月7日	少雨に関する宮古島地方気象情報 第1号
令和5年6月30日	少雨に関する宮古島地方気象情報 第1号

発表官署：石垣島地方気象台

発表期日	表 題
令和5年3月7日	石垣島地方の少雨に関する八重山地方気象情報 第1号
令和5年6月30日	少雨に関する八重山地方気象情報 第1号

発表官署：南大東島地方気象台

発表期日	表 題
令和5年3月7日	少雨に関する大東島地方気象情報 第1号
令和5年3月24日	少雨に関する大東島地方気象情報 第2号
令和5年4月11日	少雨に関する大東島地方気象情報 第3号
令和5年4月25日	少雨に関する大東島地方気象情報 第4号
令和5年5月9日	少雨に関する大東島地方気象情報 第5号
令和5年6月30日	少雨に関する大東島地方気象情報 第6号
令和5年7月20日	少雨に関する大東島地方気象情報 第7号

[一覧へ](#)

### 少雨に関する沖縄本島地方気象情報 第1号

2024年02月22日11時15分 沖縄气象台発表

**沖縄本島地方では、令和5年9月頃から降水量の少ない状態が続いています。この状態は、今後2週間程度は続く見込みです。農作物や水の管理等に十分に注意してください。**

沖縄本島地方では、令和5年9月頃から台風や低気圧及び前線の影響を受けにくかったため降水量が少なく、平年の半分以上となっている所もあります。

向こう2週間程度は、雨の降る日もありますが、これまでの少雨を解消するような、まとまった雨の降る可能性は小さい見込みです。

農作物や水の管理等に十分に注意してください。

降水量（9月1日から2月21日まで）（速報値）

（気象官署及び特別地域気象観測所）

	降水量（ミリ）	平年値（ミリ）	平年比（％）
那覇	595.0	864.2	69
名護	358.5	826.9	43
久米島	492.0	888.5	55

降水量（9月1日から2月21日まで）（速報値）

（アメダス）

	降水量（ミリ）	平年値（ミリ）	平年比（％）
伊是名	322.0	678.1	47
奥	550.0	1106.5	50
国頭	495.0	988.2	50
本部	455.5	854.7	53
東	428.5	870.4	49
粟国	362.0	716.6	51
読谷	392.5	734.1	53
北原	296.5)	757.8	39
渡名喜	389.5	／／	／／
胡屋	422.0	857.8	49
宮城島	431.0	778.0	55
渡嘉敷	444.5	875.0	51
安次嶺	436.0	689.4	63
糸数	535.0	815.3	66

（記号の説明）

）：欠測を含みます。

／／：期間の不足等の理由により、統計値がありません。

今後の気象情報等に留意してください。

[▼ 気象情報の説明を表示する](#)

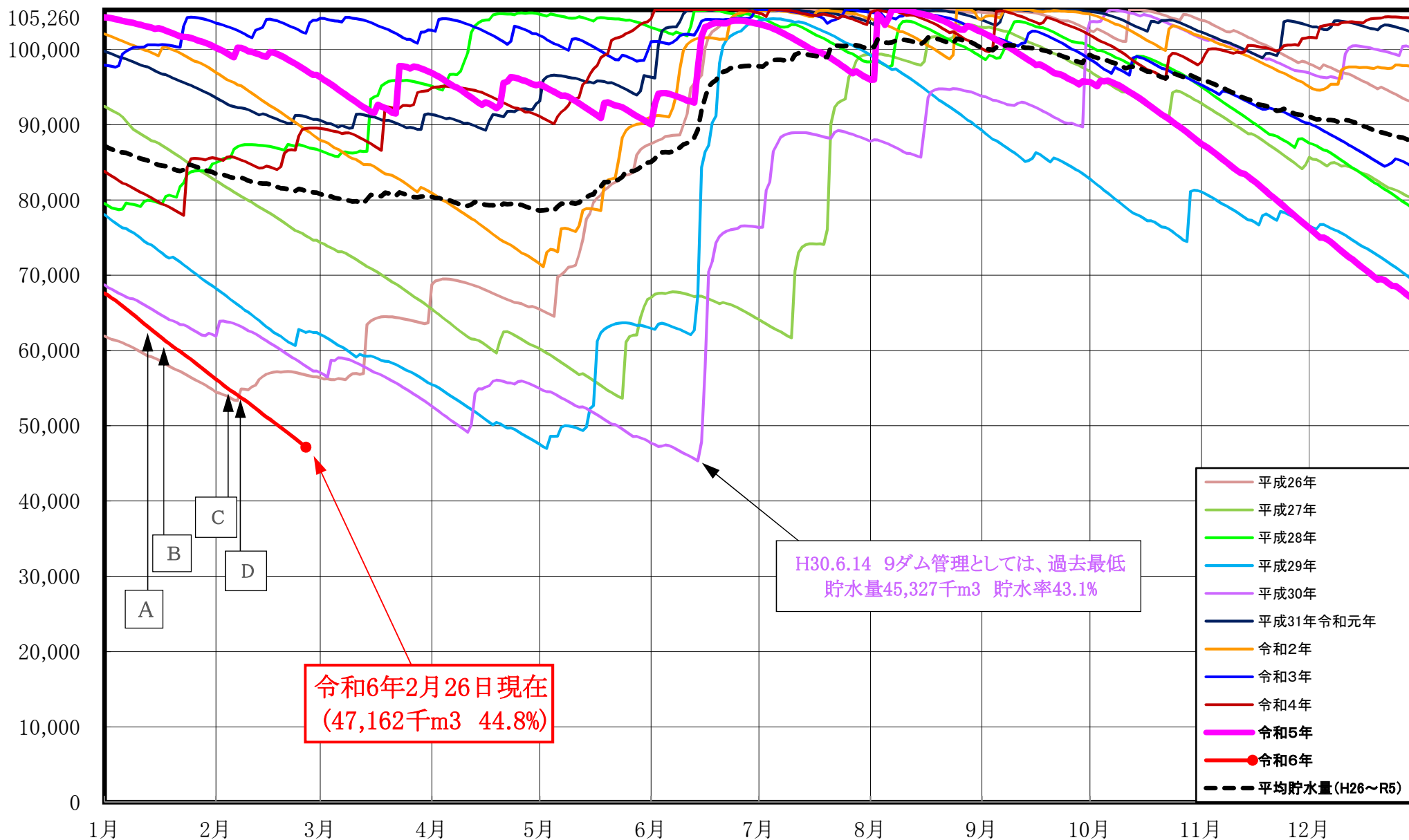
雨水の流出状況及び国管理ダムの水源状況について  
(北部ダム統合管理事務所)

# 北部ダム統合管理事務所 国管理9ダム貯水量グラフ

(国9ダム利水容量:105,260千m<sup>3</sup>)

令和6年2月26日現在

貯水量(千m<sup>3</sup>)

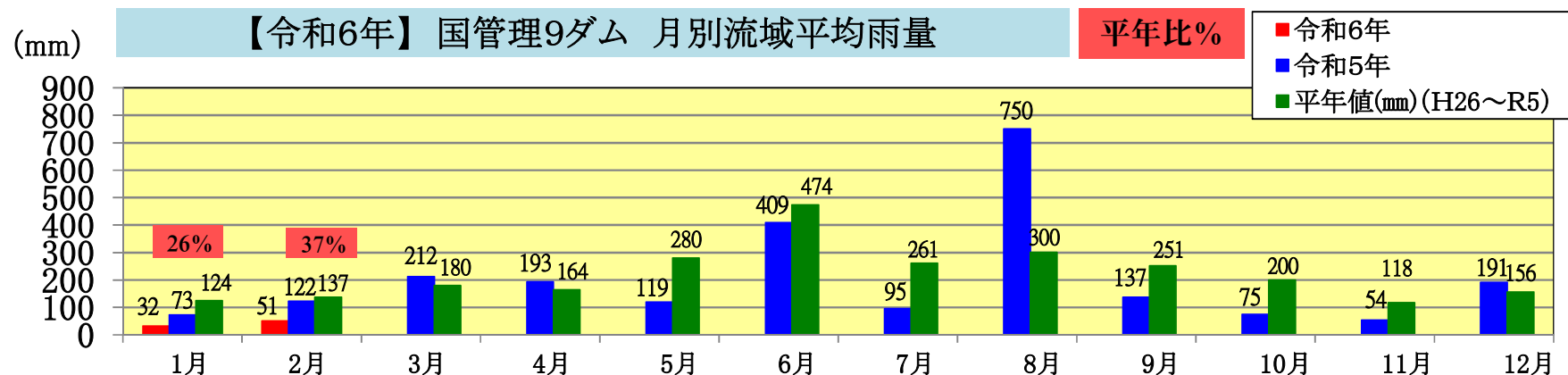


※平均貯水量は、過去10年間(平成26年～令和5年)の各年貯水率を平均し、全利水容量(105,260千m<sup>3</sup>)を乗じて算出。

※平成26年4月から金武ダム管理開始

[A] R6.1.13 海淡水施設フル稼働 [B] R6.1.16 渇対協開催 [C] R6.2.8 渇対協開催 [D] R6.2.11 中部水源(嘉手納井戸群・天願川)取水再開

<http://www.dc.ogb.go.jp/toukan/library/chosui.html>



	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	年合計
令和6年	32	51											83
令和5年	73	122	212	193	119	409	95	750	137	75	54	191	2,430
令和4年	210	217	307	67	610	606	366	126	306	214	224	301	3,554
令和3年	224	207	160	190	218	559	335	178	165	190	133	97	2,656
令和2年	90	39	158	75	410	369	239	481	382	157	29	241	2,670
平成31年	56	158	193	199	202	762	153	339	489	127	165	155	2,998
平成30年	121	112	119	243	94	499	260	267	341	292	122	200	2,670
平成29年	100	134	120	90	326	670	33	72	195	227	136	79	2,182
平成28年	268	133	236	333	144	306	123	222	286	117	118	65	2,351
平成27年	29	51	88	152	288	93	567	233	65	157	105	119	1,947
平成26年	67	193	204	97	390	469	434	336	147	446	93	113	2,989
平年値(mm)(H26~R5)	124	137	180	164	280	474	261	300	251	200	118	156	2,645



# 【令和6年2月22日時点】国管理9ダム貯水池状況

	
<p>貯水率 100% (平成17年7月)</p> <p><b>辺野喜ダム</b> 【利水容量 1,600千m<sup>3</sup>】</p>	<p>貯水率 45.3% (令和6年2月22日) NWL 下 4.15m</p>
	
<p>貯水率 100% (平成17年7月)</p> <p><b>普久川ダム</b> 【利水容量 950千m<sup>3</sup>】</p>	<p>貯水率 20.1% (令和6年2月22日) NWL 下 5.13m</p>
	
<p>貯水率 100% (平成17年10月)</p> <p><b>安波ダム</b> 【利水容量 12,600千m<sup>3</sup>】</p>	<p>貯水率 55.6% (令和6年2月22日) NWL 下 10.52m</p>

※貯水率は令和6年2月22日 0時現在の数値を示す。  
NWL 下は常時満水位から現在の貯水位との差を示す。



# 【令和 6 年 2 月 2 2 日時点】国管理 9 ダム貯水池状況



貯水率 100%  
(平成 28 年 4 月)

**新川ダム**  
【利水容量 600 千 m<sup>3</sup>】



貯水率 7.2% (令和 6 年 2 月 22 日)  
NWL 下 7.18 m



貯水率 100%  
(平成 19 年 7 月)

**福地ダム**  
【利水容量 44,700 千 m<sup>3</sup>】



貯水率 38.7% (令和 6 年 2 月 22 日)  
NWL 下 15.61 m



貯水率 100%  
(令和 4 年 8 月)

**大保ダム**  
【利水容量 17,200 千 m<sup>3</sup>】



貯水率 32.8% (令和 6 年 2 月 22 日)  
NWL 下 19.07 m

※過去最低貯水率 39.3% (H30.4.11) を更新中

※貯水率は令和 6 年 2 月 22 日 0 時現在の数値を示す。  
NWL 下は常時満水位から現在の貯水位との差を示す。



# 【令和6年2月22日時点】国管理9ダム貯水池状況



貯水率100%  
(令和2年7月)

**羽地ダム**  
【利水容量15,600千㎡】



貯水率73.8%  
NWL下4.59m (令和6年2月22日)



貯水率100%  
(令和4年8月)

**漢那ダム**  
【利水容量6,650千㎡】



貯水率66.6%  
NWL下5.02m (令和6年2月22日)



貯水率100%  
(平成27年7月)

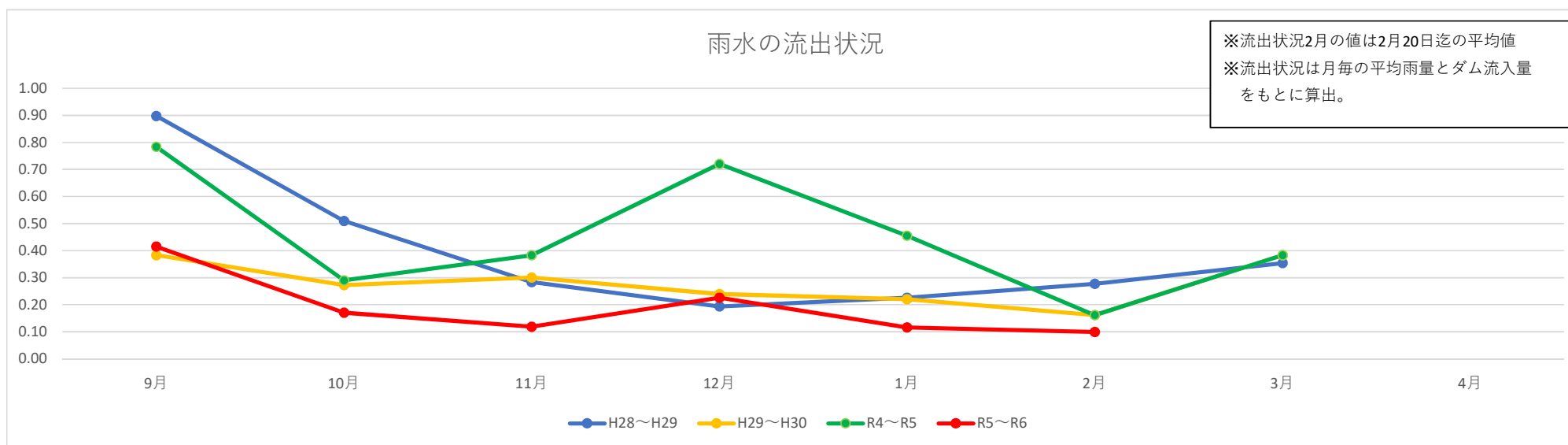
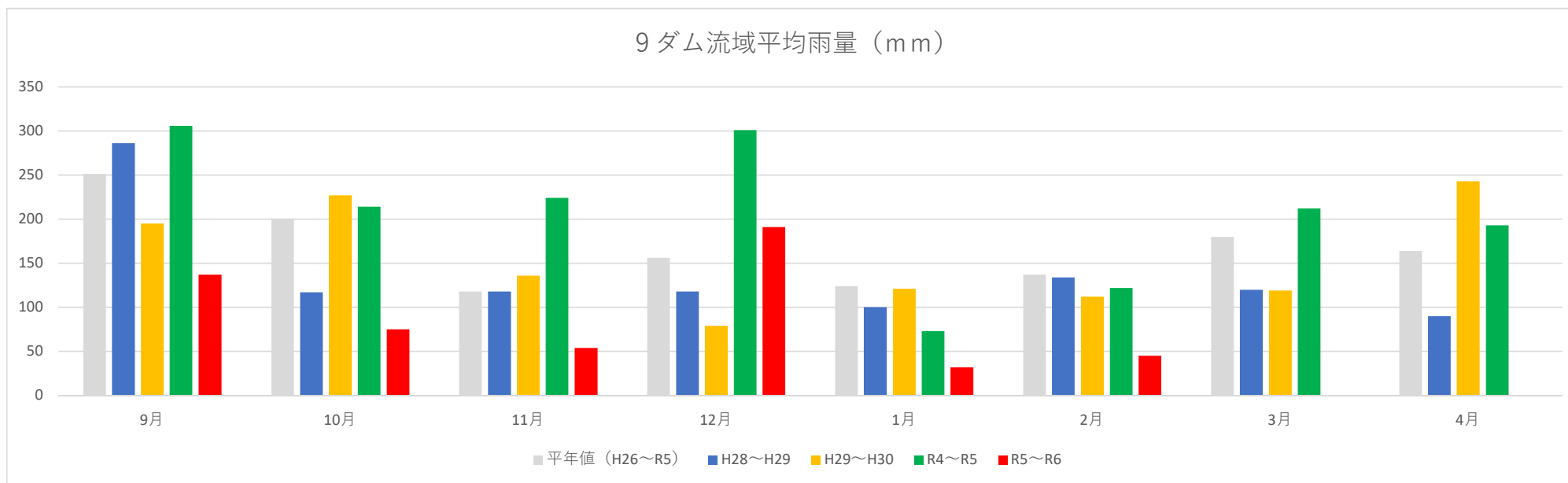
**金武ダム**  
【利水容量5,360千㎡】



貯水率33.8%  
NWL下7.68m (令和6年2月22日)

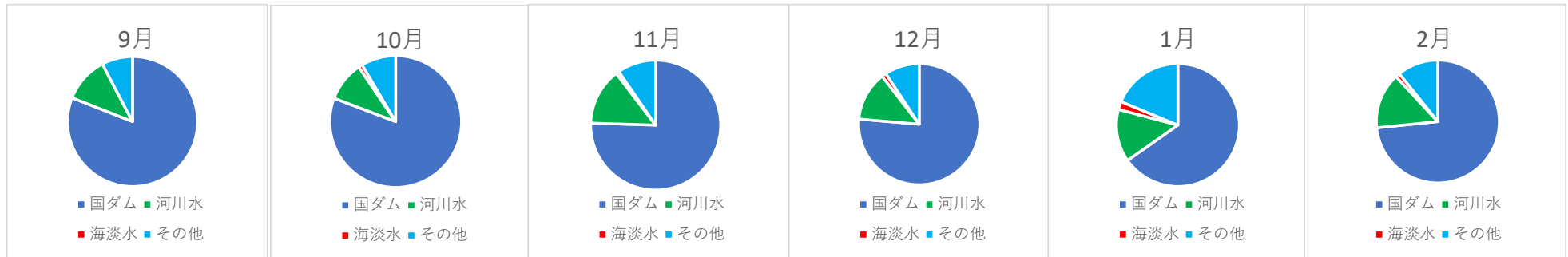
※貯水率は令和6年2月22日 0時現在の数値を示す。  
NWL下は常時満水位から現在の貯水位との差を示す。



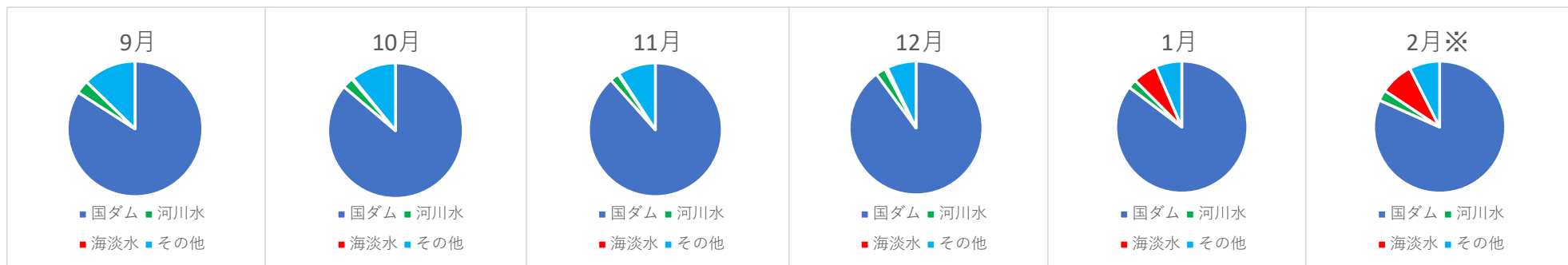


※雨水の流出状況とは、ダム流域に降った雨のうち、どれだけがダム湖に流れ込むかを簡易的に示したものの。

水源別取水割合（日平均） H29～H30

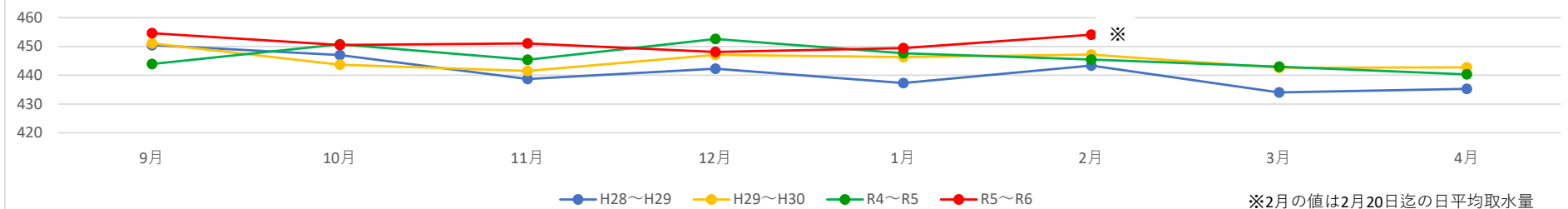


水源別取水割合（日平均） R5～R6



※2月の値は2月20日迄の水源別取水割合

日平均取水量（千m3）



最近の水事情及び水需要の動向について  
(沖縄県企業局)

令和 6 年 2 月 27 日  
沖 縄 県 企 業 局

## 最近の水事情と今後の対応方針案について

### 1 最近の水事情

#### (1) 企業局水源地における降水状況【別添資料－ 1】

昨年の企業局水源地降水量は 1,905.6mm、平年値の 85%であった。

特に 9 月以降は雨が少ない傾向にあり、9 月から現在（2/26 時点）までの降水量は 413.7mm で、平年値（905.9mm）の 45.7%であった。

2 月の降水量は 34.7mm で、平年値（116.9mm）の 29.7%であった。

#### (2) ダムの貯水率【別添資料－ 2】

現在（2/26 時点）のダム貯水率は 44.7%で、平年値を 31.2 ポイント下回っている。

#### (3) 配水量の動向【別添資料－ 3】

節水広報開始以降（1/16）、配水量は若干減少しているものの、例年同様の傾向と思われる。

#### (4) 今後の見通し

##### ア 降水の見通し

気象庁が発表した 1 か月予報（2/22 発表）において降水量の見込みは、平年並みであった。

例年、11 月から 4 月末までは雨が少ない時期であり、この時期のダム貯水率は下降傾向にある。

降水量が平年並みであった場合、当面、降水によるダム貯水率の回復、維持は期待できない。

##### イ 今後のダム貯水率【別添資料－ 4】

現状のままでは、近日中にダム貯水率が 44.3%以下、3 月上旬には 40%を下回る見込みで、過去 10 年に発生した渇水（H29, H30）より 3 か月以上早く進行している。

### 2 節水広報の強化について【別添資料－ 5】

### 3 今後の対応方針案

#### (1) ダム貯留水温存への取り組み

- 第1対応-----海水淡水化センターの運転
  - ・12/24 から運転開始（5 千 $\text{m}^3$ /日）、1/13 から最大運転（37 千 $\text{m}^3$ /日）
- 第2対応-----嘉手納井戸群、天願川、長田川から取水再開
  - <水源状況>
    - ・嘉手納井戸群-----2/11 より取水再開
    - ・天願川-----同上
    - ・長田川-----工事中（3月上旬に取水可能となる見込み）
- 第3対応-----比謝川から取水再開
  - ・降水によるダム貯水率の回復・維持は期待できない
  - ・ダム貯水率が44.3%（過去10年の最低貯水率）以下となる見込み
  - ・過去10年と比較すると、渇水の進行が3か月以上早い
  - ・上記を踏まえて、取水を再開する方針
  - <水源状況>
    - ・比謝川-----取水準備完了

#### (2) 中部水源取水再開時の北谷浄水場原水中 PFOS 等濃度予測について【別添資料－6】

全ての中部水源から取水再開した際の北谷浄水場原水の PFOS 等濃度は、約26ng/Lになると予測している。

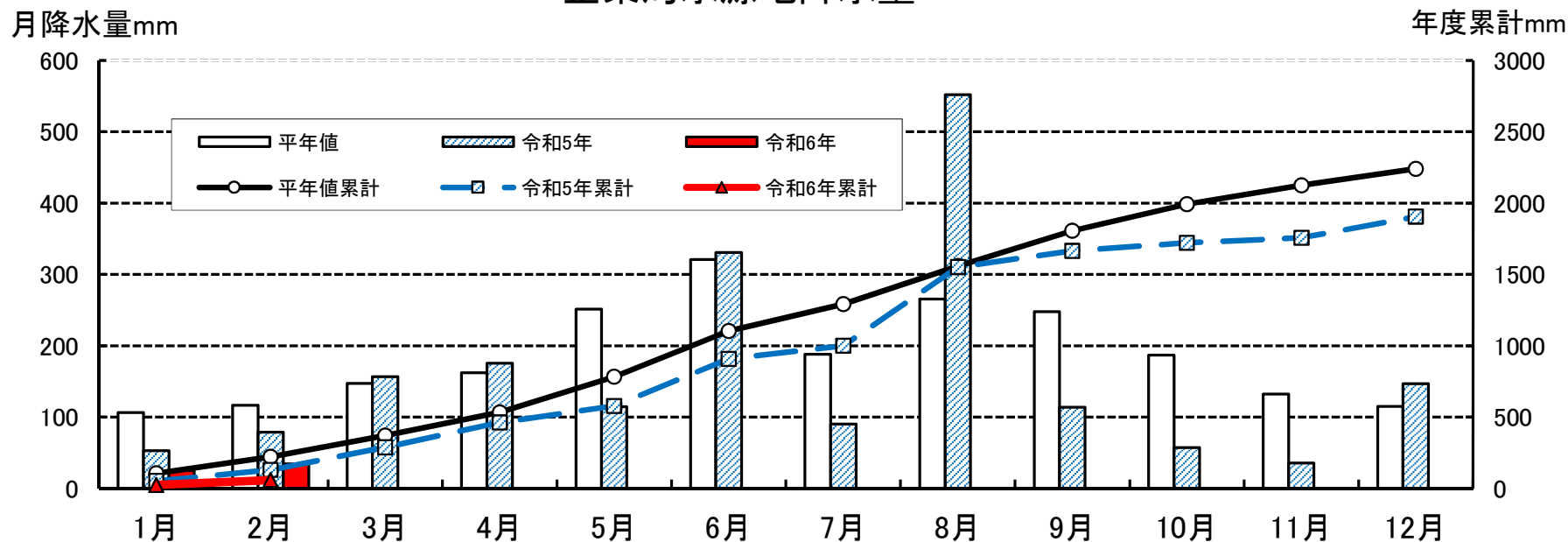
なお、北谷浄水場では高機能活性炭で PFOS 等を吸着処理することから、浄水中の PFOS 濃度は大幅に低減化できるものと考えている。

<PFOS 等検査結果（2/19 採水）>

-水源-		-北谷浄水場-	
嘉手納井戸群※	30ng/L	原水	7ng/L
天願川	45ng/L	浄水	<1ng/L
その他水源			
		海水淡水化生産水	

# 企業局水源地降水量

別添資料-1



項目 \ 月			1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	年合計
水源地降水量	R5	降水量 [mm]	52.9	79.1	156.6	175.9	114.7	330.6	90.2	551.9	113.7	57.5	35.8	146.7	1,905.6
		平年比 [%]	49.7	67.7	106.2	108.3	45.6	103.1	47.8	207.6	45.9	30.7	27.1	127.0	85.0
	R6	降水量 [mm]	25.3	34.7											60.0
		平年比 [%]	23.8	29.7											2.7
	平年値[mm]		106.4	116.9	147.5	162.4	251.4	320.8	188.6	265.8	247.9	187.1	132.1	115.5	2,242.4
累計	令和5年		52.9	132.0	288.6	464.5	579.2	909.8	1,000.0	1,551.9	1,665.6	1,723.1	1,758.9	1,905.6	—
	平年比 [%]		49.7	59.1	77.8	87.1	73.8	82.3	77.3	99.5	92.1	86.4	82.7	85.0	—
	令和6年		25.3	60.0											—
	平年比 [%]		23.8	26.9											—
	平年値		106.4	223.3	370.8	533.2	784.6	1,105.4	1,294.0	1,559.8	1,807.7	1,994.8	2,126.9	2,242.4	—

※数値は端数処理のため一致しない場合がある。

注：水源地降水量は企業局の水源地にて福地ダムから比謝川取水ポンプ場までの平均値

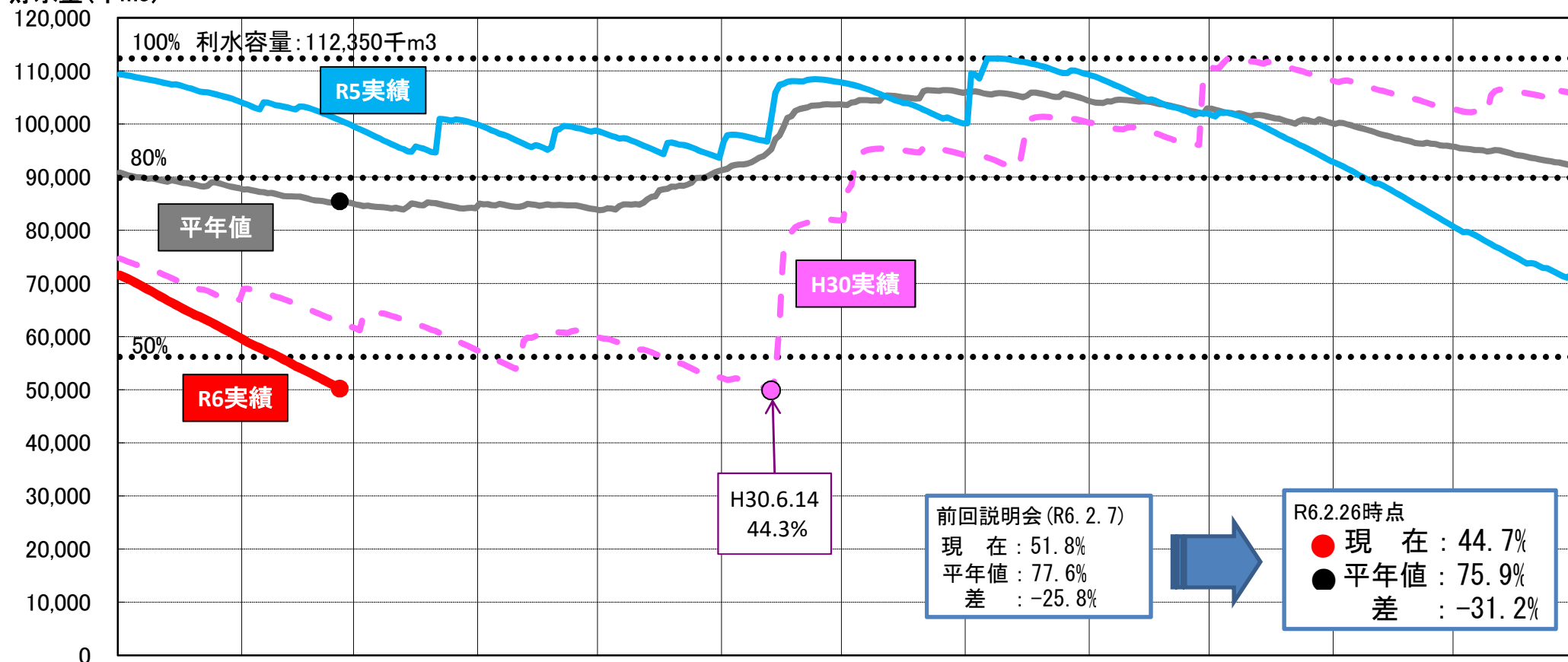
注：令和6年2月26日

0時までの実績

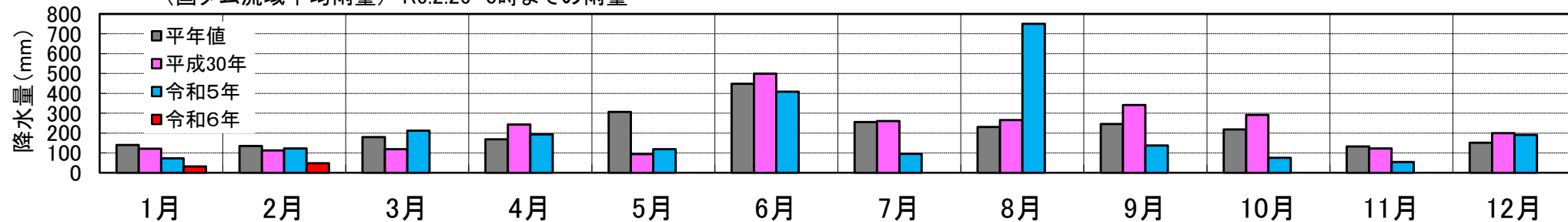
# 沖縄本島・全11ダム貯水量の推移

別添資料－2

貯水量(千m3)



(国ダム流域平均雨量) R6.2.26 0時までの雨量



## 配水量の動向

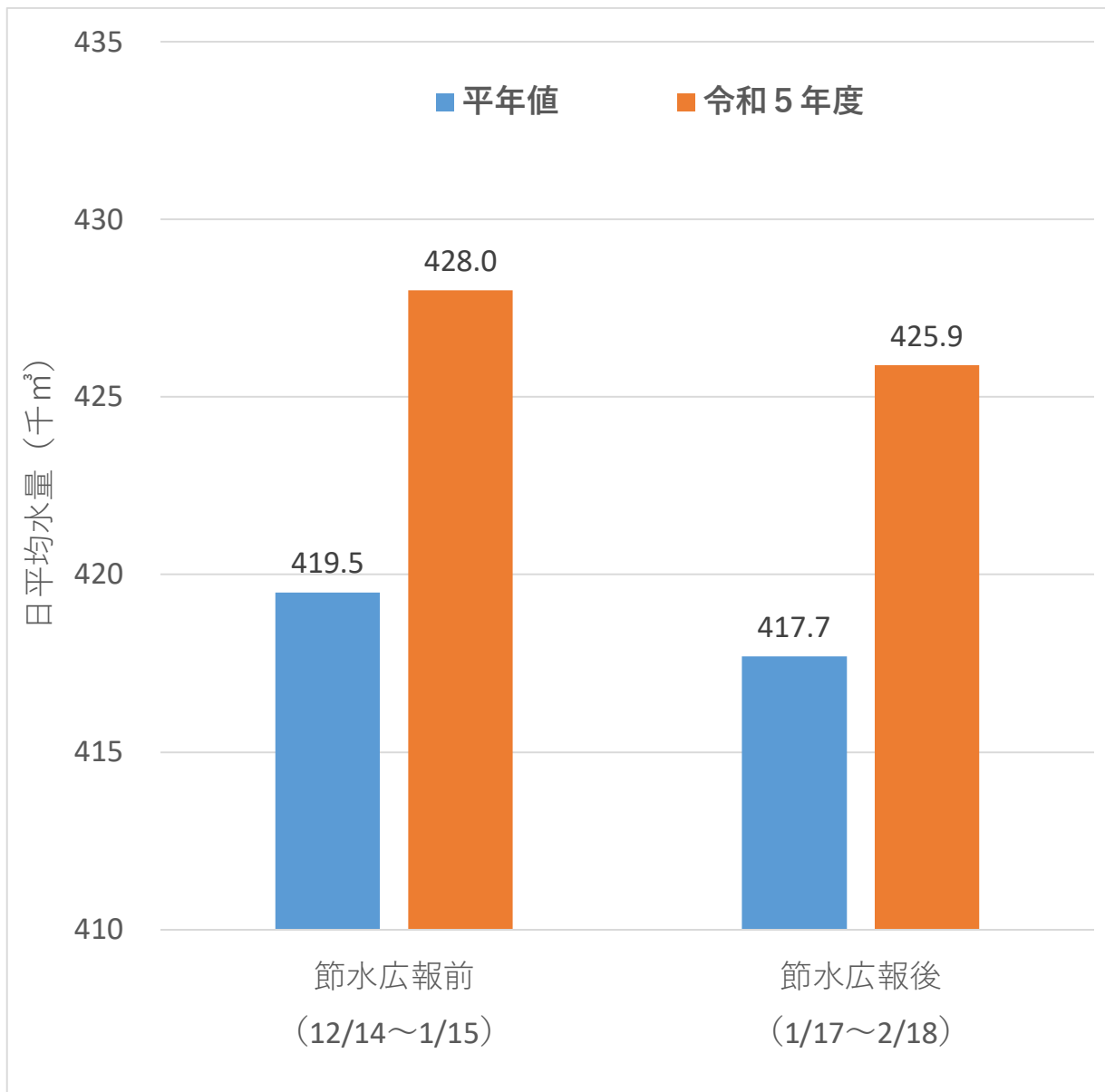
別添資料－3

＜節水広報前後の日平均配水量＞

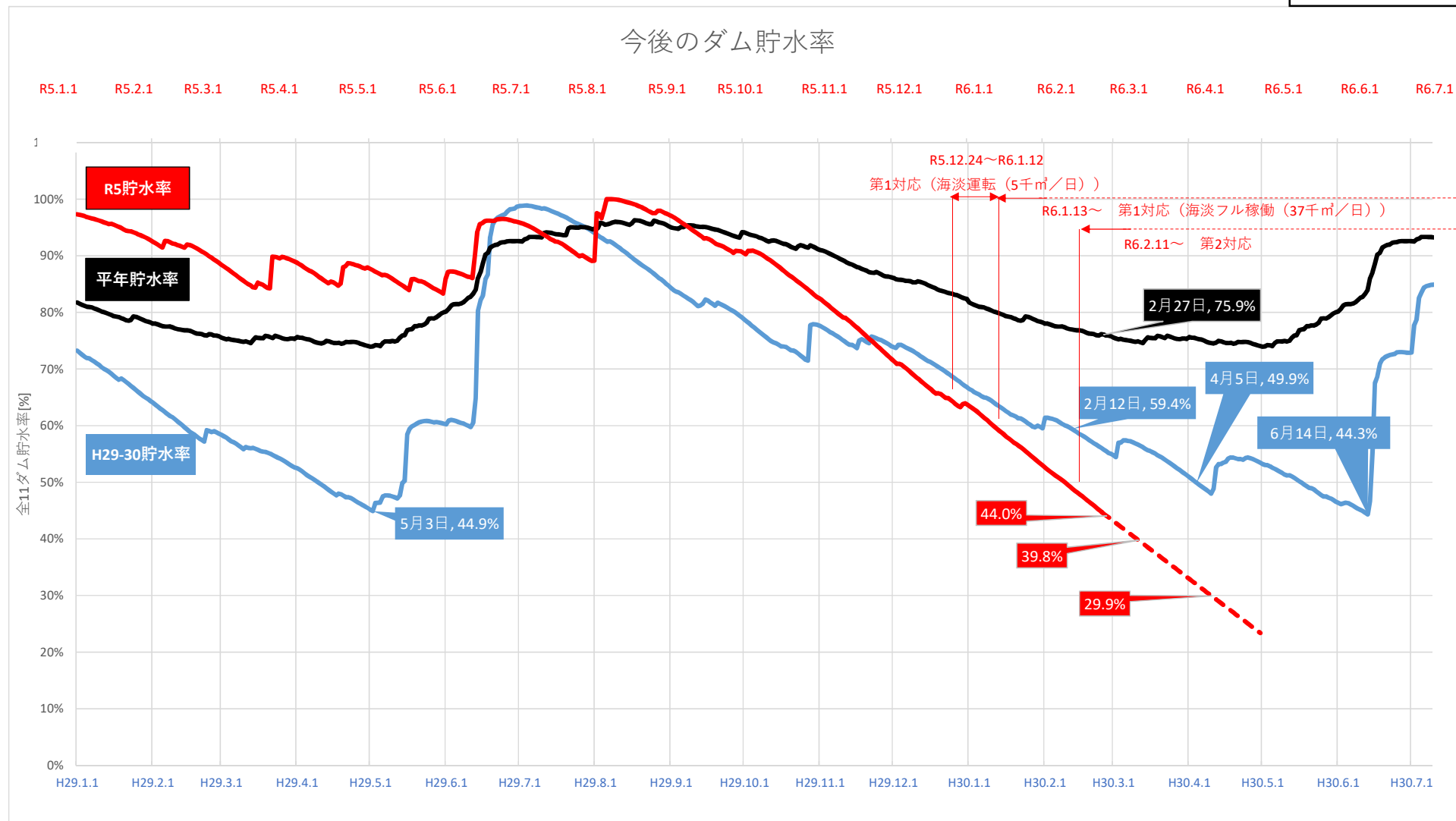
単位：千 $\text{m}^3$

	平年値 【H25～R4年度】 ( a )	R5年度 ( b )	平年比 ( b / a )
節水広報前 (12/14～1/15)	419.5	428.0	102.0%
節水広報後 (1/17～2/18)	417.7	425.9	102.0%

・ 節水広報開始日 1 月 16 日







※ 1 現在の少雨傾向 (-0.3～-0.4%/日) が今後も継続することを想定

※ 2 このグラフのダム貯水率 (11ダム) は、ダム貯水量112,350千 $\text{m}^3$  (水道以外の利水容量含む) から算出しています。

(渇水指標のグラフ (沖縄総合事務局作成) は、上水道のみのダム貯水量 (10ダム (83,680千 $\text{m}^3$ )) から算出された貯水率となっておりますのでご注意ください)

○対応済み

- ・各浄水場での懸垂幕、横断幕、のぼり、ポスターの掲示
- ・県庁各階でのポスター掲示、過去年度作成チラシ配置
- ・地域離島課への情報提供  
⇒県広報媒体（うまんちゅひろば、ラジオ県民室、美ら島沖縄など）は地域・離島課にて広報課と調整し対応している。
- ・企業局 HP 特設ページ開設
- ・局職員希望者のメール署名に節水広報バナー画像を使用
- ・新聞広告掲載（沖縄タイムス、テレビ欄右上枠）  
2月8日（広告代理店の厚意により実施のため不定期、次回は3月以降）
- ・新規グッズの発注  
（チラシ、ポスター、ポケットティッシュ、横断幕、車用マグネットステッカー）
- ・企業局 HP に特設バナー設置
- ・県庁舎手洗い水量調整 2月15日管財課対応

○今後対応予定

県庁1階県民ホールにのぼり設置	2月下旬～
節水広報グッズ作成 チラシ、ポケットティッシュ、横断幕、車用マグネットステッカー 車用マグネットステッカーは企業局公用車に貼付予定	2月下旬～ 3月上旬完成予定
パレットくもじ前広場及び付近歩道での街頭キャンペーン 企業局節水広報グッズ（チラシ、ポケットティッシュ）を配布	3月上旬
局 HP トップ画面に節水呼びかけポップアップ（ダム貯水率の推移）を設置	3月上旬 （調整中）

## 中部水源取水再開時の北谷浄水場原水中PFOS等濃度予測

取水 順位	水源	直近の PFOS等平均濃度 (ng/L)	取水段階（上段：取水量（千m <sup>3</sup> ／日）、下段：取水割合）						
			通常	第1対応		第2対応 (R6年2月11日～)		第3対応	
				1-1 (R5年12月24日～)	1-2 (R6年1月11日～)				
現状	北部河川等	—	150 (100%)	145 (97%)	113 (75%)	104.1 (69%)	93.1 (62%)	81.1 (54%)	75.1 (50%)
1	海水淡水化センター	—	—	5 (3%)	37 (25%)				
2	嘉手納井戸群 ※1	42	—	—	—	8.9 (6%)			
3	天願川	43	—	—	—	—	11 (7%)		
4	比謝川	169	—	—	—	—	—	12 (8%)	
5	長田川 ※2	8	—	—	—	—	—	—	6 (4%)
取水量 計			150	150	150	150	150	150	150
取水量(海淡水除く) 計				145	113	113	113	113	113
北谷浄水場※3 水質予測			PFOS等（原水）	<1.0ng/L	<1.0ng/L	<1.0ng/L	3.3 ng/L	7.5 ng/L	25.4 ng/L
			硬度（浄水）	44 mg/L	43 mg/L	34 mg/L	50 mg/L	66 mg/L	81 mg/L

※1 嘉手納井戸群は、R6年3月まで道路改良工事に伴う導水管移設工事により硬度低減化施設に導水できないため、当面は倉敷導水管から北谷浄水場に導水する。

※2 長田川取水ポンプ場は、取水堰工事のため、R6年2月末まで取水できない。（3月上旬に取水可能となる見込み）

※3 水質予測に用いる水量は、150千m<sup>3</sup>／日で試算した。

沖縄県企業局 PFOS+PFOA検出状況

令和5年度

單位 檢出值：ng/L 取水量：千m<sup>3</sup>/日

[illegible]

※ 灰文字の値は、取水停止中の河川水の測定値となっています。

※1 長田川はポンプ場の改良工事に伴い排水が行えないため、上流の本瀬大橋を参考として（ ）で掲載しています。

※2 高手納井戸群は、排水管工事に伴いR5/11/17に取水を全停止した後、R6/2/11から取水を一部再開していますが、通常と流路が異なるため集合水の排水を行うことができません。

※3 R6/2/11に取水を再開した井戸について、集水口に換えて井戸毎にR6/2/13に採水し、検査を行った結果、平均で 32 mg/Lでした。

沖縄県企業局 PFHxS検出状況

令和5年度

單位：ng/L

	北谷浄水場水源				北谷浄水場		名護浄水場		石川浄水場		西原浄水場		その他調査
	比謝川 取水ポンプ場	長田川 取水ポンプ場 ※1	嘉手納井戸群 (集合水)		原水	浄水	原水	浄水	原水	浄水	原水	浄水	大工廻川 (比謝川支流)
最大	72	6	41	14	4	<1	<1	<1	<1	<1	<1	<1	130
最小	26	3	13	12	<1	<1	<1	<1	<1	<1	<1	<1	60
平均	52	5	30	14	1	<1	<1	<1	<1	<1	<1	<1	107
検査回数	10	9	13	10	14	46	3	3	3	3	3	3	12
4月4日						<1							
4月11日				13	<1	<1							
4月19日	63		34			<1							130
4月24日						<1							
5月9日				12	<1	<1	<1	<1					
5月16日				13		<1			<1	<1	<1	<1	
5月22日						<1							
5月30日	54	( 5 )	37			<1							110
6月7日						<1							
6月13日				14	<1	<1							
6月19日	36	( 4 )	20			<1							110
6月26日						<1							
7月4日				14	<1	<1							
7月10日						<1							
7月19日						<1							
7月26日	40	( 6 )	41			<1							60
7月31日						<1							
8月8日	26	( 3 )	13			<1							130
8月15日				14	<1	<1	<1	<1					
8月21日						<1			<1	<1	<1	<1	
8月28日						<1							
9月4日				14	<1	<1							
9月11日						<1							
9月19日						<1							
9月25日	49	( 5 )	26			<1							86
10月3日				14	<1	<1							
10月10日						<1							
10月16日						<1							
10月23日	64	( 5 )	33			<1							100
10月30日						<1							
11月6日				13	<1	<1	<1	<1	<1	<1	<1	<1	
11月13日						<1							
11月20日						<1							
11月29日	72	( 6 )	29			<1							97
12月5日					<1	<1							
12月11日	65	( 6 )	31			<1							110
12月18日						<1							
12月25日					<1	<1							
1月9日						<1							
1月16日					<1	<1							
1月24日	62	( 6 )	29			<1							120
1月29日			34			<1							
1月31日						<1							
2月5日					<1	<1							
2月13日			30	※2 ※3	4	<1							96
2月19日			34	14	3	<1							130

※ 灰文字の値は、取水停止中の河川水の測定値となっています。

※1 長田川はポンプ場の改良工事に伴い採水が行えないため、上流の太溝大橋を参考として（ ）で掲載しています。

※2 喜手納井戸群は、漏水箇所に伴いR5/11/17に取水を全停止した後、R6/2/11から取水を一部再開していますが、運営と管路が異なるため集合水の採水を行うことができません。

※3 R6/2/11に取水を再開した井戸について、集水水に替えて井戸毎にR6/2/13に取水し、検査を行った結果、平均で15 ng/lでした。

節水広報の強化について  
( 事 務 局 )

## 節水広報の強化について

- ダム貯水が改善する程度の降雨は余り見込めず、海水淡水化施設についても最大出力で稼働中。現時点で未取水の比謝川、長田川から取水再開した場合も量的に限りがあるため大幅な改善は見込めない。降雨が見込める梅雨入りまでの節水を強化する必要がある。
- すでに節水呼びかけに Line を活用したり、学校などでも節水を呼び掛けるなど、広報手段や広報機会を増やし広報の強化に取り組んでいる。今後、さらに道路の電光掲示板を利用するなど広報手段や広報機会を増やして広報の強化に努める。
- また、給水制限に備えた課題を整理するなど渇水対策協議会メンバーで情報交換しながら作業を進めており、今後は SNS などを通してそういった取り組みも発信することで節水の意識向上を図るよう努める。

## 今後の沖縄渇水対策連絡協議会の 活動について

○今後も降雨量が少なく、11 ダムを運用開始した平成

26 年 4 月以降で過去最低貯水率の 44.3%を更新する

場合は、そのタイミングで協議会を開催する。

※仮に、現状の水位低下傾向が継続するとした場合、

2 月下旬ごろ。 →今回 (R6. 2. 27開催)

○中部水源からの取水を開始するタイミングで協議会を

開催する。 →前回 (R6. 2. 8開催)

○給水制限を視野に入れることを決定するタイミングで

協議会を開催する。

○給水制限を行うことを決定するタイミングで協議会

を開催する。



10ダム合計貯水率(%)							渇水の状況・期間	調整の内容及目安	河川管理者 ダム管理者	水道・工業用水事業者 (沖縄県企業局)	かんがい事業者	県民・事業者
期別												
7月 ～11月	12月	1月	2月	3月	4月 ～5月	6月	<div>10ダム水道容量 83,680千m3</div> <div>平時</div> <div>100100100100100100100</div> <div>貯水率低下</div> <div>～50 ～45 ～40 ～35 ～30 ～25 ～40</div> <div>↓ 傾 渇 向 水</div> <div>水不足が予見される段階</div> <div>50 ～45 45 ～40 40 ～35 35 ～30 30 ～25 25 ～20 40 ～35</div> <div>貯水率が減少傾向にあり、 自主的に節水を強化して いる状況</div> <div>10日～ 2週間程度</div> <div>水不足の段階</div> <div>45 ～35 40 ～30 35 ～25 30 ～25 25 ～20 20 ～15 35 ～30</div> <div>貯水率の減少が進行し、 段階的に水利用の制限を 行っている状況</div> <div>2週間程度</div> <div>深刻な水不足の段階</div> <div>35 ～10 30 ～10 25 ～10 25 ～10 20 ～10 15 ～10 30 ～10</div> <div>貯水率の減少が更に進行 し、段階的に水利用の制 限を強化している状況</div> <div>3週間程度</div> <div>危機的な水不足の段階</div> <div>10 ～0 10 ～0 10 ～0 10 ～0 10 ～0 10 ～0</div> <div>貯水率が概ねゼロ又はゼ ロの状況</div>	<div>●渇水対策連絡協議会</div> <div>※節水広報</div> <div>※海水淡水化の増量検討</div> <div>●渇水対策連絡協議会</div> <div>※未利用水源の活用検討</div> <div>※夜間8時間断水の検討</div> <div>●渇水対策連絡協議会</div> <div>◆夜間8時間断水</div> <div>※取水制限20%相当</div> <div>●渇水対策連絡協議会</div> <div>※取水制限の強化検討</div> <div>※未利用水源の活用</div> <div>●渇水対策連絡協議会</div> <div>◆隔日24時間給水</div> <div>※取水制限40%相当</div> <div>●渇水対策連絡協議会</div> <div>※取水制限の継続実施</div> <div>※県外からの応援給水受入対応検討</div> <div>◆県外からの応援給水</div>	【適正な河川管理】 ・適正な利水補給、河川環境の確認	【平時からの適正な施設管理】 ・取水・送配水施設の点検・整備 ・施設等の水回りの整備・点検 ・漏水の監視	【平時からの適正な施設管理】 ・取水・送配水施設の点検・整備 ・施設等の水回りの整備・点検 ・漏水の監視	【平時からの行動】 ◆一般家庭・事業所での節水 ・雨水利用や自己水源等の有効活用 ・漏水や無駄水の監視
									【事前行動：広報・対策検討】 ・気象情報等の収集 ・ダム貯水率、河川水位の監視 ◆関係機関等への節水広報	【事前行動：広報・対策検討】 ・気象情報の収集 ・水源状況の監視 ■海水淡水化の増量検討開始 ◆海水淡水化の増量開始 ◆市町村等の受水団体への情報提供と節水呼びかけ	【事前行動：広報・対策検討】 ・気象情報等の収集 ・水源状況の監視 ◆農家等の関係利水者への情報提供と節水呼びかけ	【情報収集】 ◆節水推進 ・水源情報や節水広報の確認
									【渇水対策の実施】 ■未利用水の渇水調整 ■ダムの操作に関する調整 ■未利用水の渇水調整受理	【渇水対策の実施】 ■未利用水の渇水調整 (未利用工水→上水) ■未利用水の渇水調整 (未利用農水→上水)	【渇水対策の実施】 ◇未利用水活用の情報を受理 (未利用農水→上水)  ・利水者間での情報共有 ・給水制限に備えた体制整備(準備)	◆節水推進 ・自治体情報の確認   ・給水制限に備えた生活スタイル、 社会経済活動への対応準備
									【渇水対策の推進】 ◆未利用水の渇水調整承認  ・渇水被害情報等の収集	【渇水対策の推進】 ◆未利用水の渇水調整承認に伴う 取水開始  ・給水制限に備えた体制整備 ・住民・事業者への節水呼びかけ の強化	【渇水対策の推進】  ・給水制限に備えた体制整備 ・農家への節水呼びかけの強化	【節水の強化】 ◆節水強化 ・再生水や雨水利用等の促進 ・飲料水の備蓄 ・ホテル利用者、観光客等への節 水呼びかけと情報提供の推進
									【渇水対策の強化】 ・渇水被害情報等の収集	【渇水対策の強化】 ・給水制限に備えた体制整備 ・受水団体との調整  ■応援給水受入検討開始 (沖縄県水道担当部局と協働)	【渇水対策の強化】 ・給水制限に備えた体制整備 ・受益団体との調整強化	【節水の強化】 ◆節水強化 ・事業所の営業時間変更 など
							【渇水対策の強化】 上記対応のさらなる強化 ・渇水被害等の情報収集 など	【渇水対策の強化】 ◆県外からの応援給水受入 (沖縄県水道担当部局と協働)	【渇水対策の強化】 上記対応のさらなる強化 ・受益団体との調整強化 など	【節水の強化】 上記対応のさらなる強化 ・最低限の水利用 など		

36